

国立大学法人滋賀大学（所在地：滋賀県）

事業名

滋賀大学教育学部附属音楽教育支援センターによる「大学×音楽」のモデルづくり

事業の趣旨・目的

滋賀大学教育学部附属音楽教育支援センター（愛称：おとさぽ）は全国でも珍しい、障害児者のための音楽教育センターで、文化庁等から委託や助成を受け、滋賀県内の特別支援学校、特別支援学級に学校訪問コンサートを供給したり、センター内で音楽療法やワークショップを実施している。これまでは学齢期の障害児者を主な対象としていたが、学校卒業後の障害者の音楽の生涯学習のモデルづくりをし、センターの事業として継続する。その準備段階として、試行を含む調査研究を行いたい。

事業実施体制・連携先

・事業実施体制 大学教員12名（音楽教育、音楽療法、障害児教育、附属特別支援学校長など）、センターの音楽療法士7名
・連携先 滋賀県障害福祉課活動係、滋賀県内の障害福祉サービス事業所など

主な対象

すべて

活動分野

文化芸術

事業内容

- （1）地域の障害福祉サービス事業所への質問紙調査、聞き取り調査（センターでの音楽の生涯学習への参加希望の有無、実施方法について）
- （2）全国の先進事例の調査（大学や障害福祉サービス事業所による先進的な実施例を見学し、事業の実施方法など参考にする。）
- （3）滋賀県障害福祉課活動係等と連携協議会の関係構築
- （4）センターで音楽療法士によるグループセッション等の試行
（（1）で希望のあった事業所を招いて、実践を重ね、アンケート調査）
- （5）センターでの正式な事業化、自走化に向けてのまとめ



2024年度のグループセッションの試行例 おとさぽ「おとなの会」の様子

事業終了後の目指す方向性

- ① センターの学齢期から学校卒業後までの一貫した音楽教育の支援体制を構築
- ② 事業の自走化
- ③ 大学センターから障害福祉サービス事業所を介して音楽の生涯学習を提供するモデルづくり
- ④ 全国に向けての事例発信

その他

滋賀大学教育学部附属音楽教育支援センターおとさぽHP
<https://otosapo.com>

おとさぽ「おとなの会」の実施例（2024年度）

<https://www.otosapo.com/post/%E3%81%8A%E3%81%A8%E3%81%95%E3%81%BD-%E3%81%8A%E3%81%A8%E3%81%AA%E3%81%AE%E4%BC%9A%E4%BC%81>

